

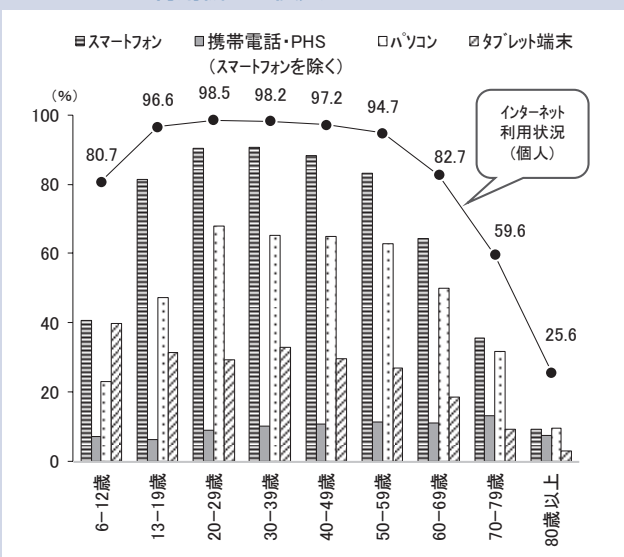
情報通信・テクノロジーへの適応をめぐる世代間ギャップ

ライフデザイン研究部 主任研究員 北村 安樹子(きたむら あきこ)

新たな技術への期待と不安

6月に公表された通信利用動向調査によると、個人のインターネット利用者は13～59歳の各年齢層で9割を超えた(資料1)。主な利用機器をみると、70代までの人ではスマートフォンが最も多い。利用機器や使い方には依然個人差がみられるものの、インターネットの利用は、日常生活の多様な場面に広がっている。

資料1 インターネットの利用状況(個人)と主な利用機器<複数回答>



(出所)総務省「令和2年通信利用動向調査」より第一生命経済研究所作成

インターネットの利用を含め、情報通信技術やテクノロジーの広がり、私たちの暮らしを豊かで便利なものにするといわれている。しかしながら、一方でそれらへの適応に不安を感じる人もいる。

当研究所が2019年に行ったアンケート調査では、情報通信や人工知能(AI)などのテクノロジーに関して対になる考え方を示し、回答者の意識をたずねている。その結果、「A便利になる」については、Aに近い(「Aに近い」「どちらかといえばAに近い」の合計)とした人が全体の9割を超え、「B不便になる」に近いとした人を大幅に上回った(資料2)。

一方、「A不安はない」については、「B不安がある」に近いとした人がAに近いとした人を上回った(資料3)。若い女性ではより明確に「Bに近い」とした人の割合が高い。つまり、「便利になる」とした人はどの世代でも多数派であるが、これらの変化に子どものころから触れてきた若い世代の方が、期待と不安を併せ持っていると考えられる。

シニア世代の方が「自分ごと」

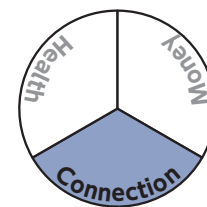
これらの社会変化に対する対応力については「ある程度努力することで対応できると思う」(37.8%)とする人が最も多く、「問題なく」「かなり努力が必要だが」を含めれば、7割超が対応できると答えている(資料4)。

注目されるのは、「自分には関係ない話だと思う」とした人が年齢の高い人ほど少ないことである。特にITなどのテクノロジーによる社会変化を中高年期以降に経験してきた60代の場合、変化への対応に迫られた経験が多かったためか、このような人は1割に満たない。「ある程度努力することで対応できる」「かなり努力が必要だが、対応できる」とした人も6割以上おり、対応を自分ごととして捉えている人が多い。

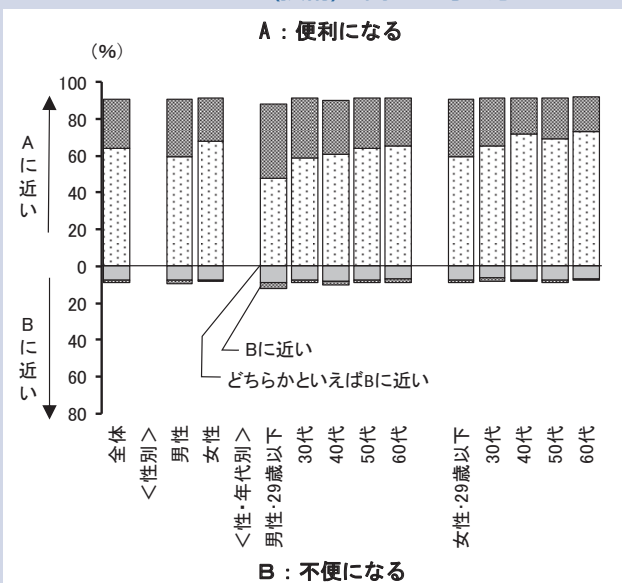
世代間ギャップを埋めるには

これに対して29歳以下の若い世代では「問題なく対応できると思う」とする人の割合が最も高く、対応力に自信を持つ人が多い。ただ、若い世代のなかにも自信がない人はいて、それが資料3でみた若い女性の不安につながっているとみられる。

前述のように、年をとるほど、年下の世代より技術によって変化する前の社会を知っている期間が長いと、その変化を感じやすい。対応力には個人差もあるが、自分より年長の世代の方が新しい技術に抵抗を感じやすいことについて、中高年以上の人は若い世代よりもイメージしやすいだろう。これに対して、インターネットや情報通信機器の操作に不慣れな人がそれらの利用に煩わしさや違和感を持

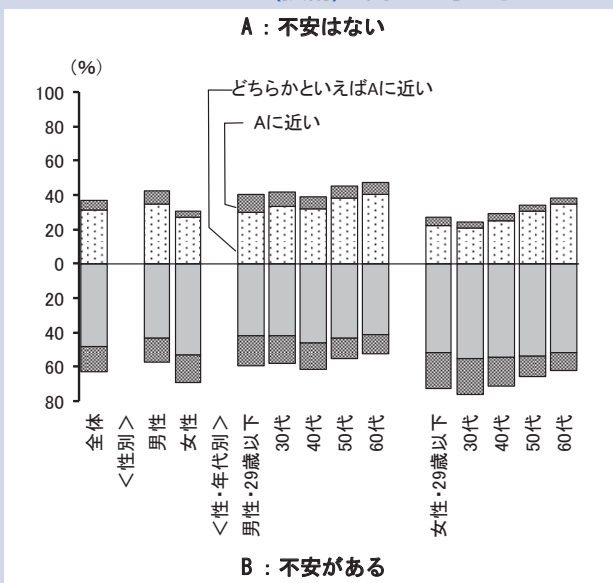


資料2 今後の情報通信のあり方や、人工知能(AI)などのテクノロジー(技術)に関する考え方



(注)設問文は、「あなたは今後の情報通信のあり方や、人工知能(AI)などのテクノロジー(技術)についてどのように考えますか。それぞれAとBを比較して自分の考えやイメージに近いものをお選びください」
 (出所)第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート調査」より作成(2019年1月31日~2月6日実施、インターネット調査)。全国の18~79歳の男女19,630名が回答。うち本稿では18~69歳17,564名のデータを使用。

資料3 今後の情報通信のあり方や、人工知能(AI)などのテクノロジー(技術)に関する考え方



つ場合があることを、若い世代は理解できないかもしれない。また、若い世代にとっては当たり前のことと感ぜられるような基本的なリテラシーが共有されていないために、IT技術を使ったコミュニケーションを行ったり、それらの使い方を聞かれたりした際に違和感を覚える場合もあるだろう。その点、自らも新たな技術の利便性を体験する一方、それらへの対応に迫られてきた中高年以上の世代であれば、70代以上の高齢世代を含め自分より上の世代の心情を理解しやすいだろう。世代差だけでは語れない部分はあるが、中高年以上の人は、時代の変化やコミュニケーションに対する感覚の違いを、高齢世代と若い世代の双方にわかりやすく伝える橋渡し役になれる場面もあるのではないだろうか。

資料4 社会変化への対応に対する意識

(単位: %)

	問題なく対応できると思う	応えられると思う	ある程度努力することで対応できると思う	かなり努力が必要だが、対応できると思う	いと難しく、努力をしても、対応は難しいと思う	努力するつもりはないので、対応できないと思う	自分には関係ない話だと思う
全体	9.5	37.8	27.2	11.0	3.1	11.4	
<性別>							
男性	13.6	39.6	23.2	9.3	3.1	11.3	
女性	5.5	36.1	31.2	12.7	3.0	11.5	
<性・年代別>							
男性・29歳以下	16.0	34.5	23.7	9.4	2.6	13.8	
男性・30代	12.7	39.5	24.1	9.6	2.5	11.5	
男性・40代	12.8	41.2	22.0	8.6	3.0	12.4	
男性・50代	13.7	41.9	21.7	9.0	3.7	10.0	
男性・60代	13.0	40.1	24.5	10.1	3.4	9.0	
女性・29歳以下	7.5	37.1	29.4	8.9	2.8	14.2	
女性・30代	5.5	37.3	30.0	11.2	2.7	13.3	
女性・40代	5.5	37.9	30.9	12.0	2.4	11.5	
女性・50代	5.0	35.6	32.8	13.6	2.9	10.2	
女性・60代	4.3	33.1	32.6	16.8	4.3	9.0	

(注)設問文は、「あなたは今後の情報通信や人工知能(AI)などのテクノロジー(技術)の向上で生じる社会変化への対応についてどのように思いますか」
 (出所)資料2、3に同じ